

		検討依頼事項	左に対する検討結果（方針・対策・課題・要望事項等）
普通会計	総括的事項及び歳出関係	<div>【現状と課題】</div> <div>①実質収支、実質単年度収支</div> <div>・「実質収支」は黒字(207,660千円)。 H20(184,160千円)比は+23,500千円(+12.8%)。 ・「実質収支比率」は3.7%(県平均3.8%、県内16位)。 H20(3.4%)比は+0.3ポイント。 ・「実質単年度収支」は黒字(322,327千円)。 H20(▲97,989千円)比は+420,316千円。 H16、H20は赤字計上。 ・「実質単年度収支比率」は5.8%(県平均3.6%、県内8位)。 H20(▲1.8%)比は+7.6ポイント。</div> <div>②歳出規模の状況</div> <div>・「歳出決算倍率」は152.8(県平均159.3、県内11位)。 H20(141.1)比は11.7ポイントと悪化。</div> <div>③基金残高の状況</div> <div>・「基金残高(財調+減債+その他特目)」は4,189,295千円。 H20(4,003,695千円)比は+185,600千円(+4.6%)と改善。 ・「基金残高倍率」は75.6%(県平均31.9%、県内3位)。 H20(73.9%)比は+1.7ポイントと改善。 ・「基金残高対前年度減少額倍率」は▲3.4%(県平均▲3.4%、県内14位)。 H20(▲1.6%)比は▲1.8ポイントと改善。</div> <div>④経常収支比率の状況</div> <div>・「経常収支比率」は82.6%(県平均86.2%、県内順位8位)。 H20(87.3%)比は▲4.7ポイントと改善。 ・県内で低い水準にあるが、性質別内訳を見て指標を押し上げているものは以下の通り。 維持補修費1.9%(県平均1.5%、県内23位) 公債費24.8%(県平均21.8%、県内29位)</div> <div>⑤実質公債費比率の状況</div> <div>・「実質公債費比率」(H18～H20平均)は13.0%(県平均16.0%、県内7位)。 前年度(13.4%)比は▲0.4ポイントと改善。 H17以降連続して改善しており、県内で低い水準にある。</div> <div>⑥プライマリーバランスと地方債残高の状況</div> <div>・「プライマリーバランス」は黒字(55.7%) (県平均78.2%、県内8位)。 H20(51.3%)比は4.4ポイントと悪化。 H17に赤字に転じたが、以後黒字。 ・「地方債現在高倍率」は182.2%(県平均184.3%、県内16位)。 H20(198.1%)比は▲15.9ポイントと改善。 H16以降改善している。</div> <div>⑦将来の財政負担(地方債残高+債務負担行為支出予定額-基金残高)の状況</div> <div>・「将来財政負担」は6,167,622千円。 H20(7,253,133千円)比は▲1,085,511千円(▲15.0%)と改善。 ・「将来財政負担比率」は111.4%(県平均168.0%、県内5位)。 H20(133.9%)比は▲22.5ポイントと改善。 H16以降改善している。</div> <div>⑧将来負担比率(健全化法)の状況</div> <div>・「将来負担比率」は38.9%と早期健全化基準を下回り、県内でも低い水準(県平均116.4、県内3位)。 H20(37.2%)比は1.7ポイントと悪化。</div> <div>⑨公営事業会計等への繰出金等の状況</div> <div>・「繰出金等比率1」は11.2%(県平均9.5%、県内22位)。 H20(9.7%)比は1.5ポイントと悪化。 ・「繰出金等比率2(第三セクターへの委託料を除いたもの)」は9.9%(県平均8.5%、県内22位)。 H20(8.3%)比は1.6ポイントと悪化。</div> <div>⑩集中改革プラン(経費節減の財政効果)の進捗状況</div> <div>・計画額1,010百万円に対し実績額は1,409百万円。達成率139.5%。 (達成率内訳) 「歳入」 計画額49百万円 実績額112百万円 達成率228.6% 「歳出(人件費削減)」 計画額493百万円 実績額783百万円 達成率158.8% 「歳出(人件費以外)」 計画額468百万円 実績額514百万円 達成率109.8%</div> <div>【現状と課題 総括】</div> <div>①基金残高は着実に積み増している。基金残高倍率は県内3位と高水準。 ②経常収支比率は、県内8位と低水準。 ③実質公債費比率はH17以降連続して改善しており、県内7位と低水準。 ④プライマリーバランスはH17以外は黒字を継続。 ⑤繰出金等比率2は県内22位と、公営企業等への財政的援助の割合は高い。 ⑦集中改革プラン(経費節減等の財政効果)は、計画を達成。</div> <div>【検討依頼事項】</div> <div>・普通会計における課題は少ないですが、H23年度当初予算に向けて以下の点に留意してください。</div> <div>①事業全般にわたるスクラップアンドビルドの徹底、大規模事業の計画的な実施など、過大な歳出規模とならないよう留意してください。</div> <div>②公共施設の更新が将来的には財政負担となるおそれがあることから、公会計整備に伴う資産の把握について、取組状況を教えてください。</div>	<div>①H21までは、プライマリーバランス(臨時財政対策債含み)を維持できてきたが、H22は経済対策事業あるいは第三セクター支援等で微妙な状況である。H23は、プライマリーバランスの堅持を絶対条件とし、引き続き行政改革推進に取り組み、大型事業及び箱モノ(後年度以降の維持管理費含み)については、まちづくり計画等に搭載し計画的に推進する。</div> <div>②資産の把握については、現在の紙ベース管理から、庁舎内での情報を共有できるよう、財産管理システムの導入を検討している。また、資産額等の把握については、現在、手段方法も含め検討中である。</div>

		検討依頼事項	左に対する検討結果（方針・対策・課題・要望事項等）
保険等事業会計	歳入関係	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・平成21年度の自主財源比率は、17.7％（H20:18.5％、▲0.8ポイント）で、県内32位（県平均28.1％）にある。・町税の調定額に対する収入未済額の割合は、6.7％（H20:8.1％、▲1.4ポイント、県内13位、県平均7.6％）で、県平均を下回っている。・町税の徴収率は、92.5％（H20:90.8％、＋1.7ポイント）で、県内13位（県平均91.7％）となっている。・債権差押、インターネット公売等、滞納処分を積極的に実施している。 <p>【検討依頼事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・町税の徴収率は、現年課税分・滞納繰越分ともに改善されています。引き続き収入未済額の縮減に努めてください。	<ul style="list-style-type: none">・引き続き自主納付の意識高揚を図るとともに、処分徴収と執行停止（欠損）の見極めに努める。
	国保事業	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・実質収支3,334千円は、H20(9,161千円)比では▲5,827千円。・国保税の収入未済額は減少しているが、調定額の減少に伴い調定額に対する割合は、21.6％（H20:16.9％、▲4.5ポイント（▲21.0％）、であり県内20位。国保税の徴収率は、77.8％（H20:75.6％、+1.4ポイント）で、県内14位。 <p>【検討依頼事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・国保税については、徴収率及び収入未済額の割合は改善していますが、引き続き収入未済額の縮減に努めてください。	<p>対応は一般税に同じ。今後の収納率向上対策としては、収納対策以前の取り組みとして、国民健康保険税の納税義務者である「世帯主」について、「主として世帯の生計を維持する者であって、国民健康保険税の納税義務者として社会通念上妥当とみとめられる者」の認定について、担当課と連携して適正処置をすることが求められる。（現在:住民票上の世帯主＝国民健康保険税の納税義務者）</p>
	国保直診事業	<p>【現状及び課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・普通会計からの繰入金6,538千円は、H20(6,472千円)に比べ、+66千円（+1.0％）と悪化しており、これを控除した後の実質収支▲3,364千円も、H20（▲5,473千円）に比べ、+2,109千円と改善している。 <p>【検討依頼事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・繰入金のあり方についてどのようにお考えか教えてください(当該医療機関が担うべき役割について整理した上で、その役割に応じて繰入する経費についてルールを定めているなど)	<p>当町は、本庁舎を中心として約20キロ離れたところに支所が5か所あり、1支所を除いて歯科医院が無い状況となっている。このことから、高齢者を含めた交通弱者に対応するべく診療車による歯科診療及び在宅での訪問診療を行っている。地域の健康推進と、今後においては、在宅介護の住民への口腔ケアを推進していく必要である。</p> <p>一般会計からの繰入金については、地域医療の確保のため、赤字分を補てんすることとしている。</p> <p>なお、歯科衛生士、運転技士、事務職員を臨時雇用としたことで人件費が削減されているが、安定的に診療運営するための人員確保の検討が必要と考えている。</p>
	老人保健事業	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・後期高齢者医療制度に移行。 <p>【検討依頼事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・特になし。	
	介護保険事業（保険事業会計）	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・財源補てん的な他会計繰入金はなく、実質収支は黒字を計上。 <p>【検討依頼事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・特になし。	
	介護保険事業（介護サービス事業勘定）	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・普通会計からの繰入金が5,369千円あり、これを控除した実質収支は赤字を計上。・人件費の合計が7,179千円。 <p>【検討依頼事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・特になし。	
公営企業会計	簡易水道事業（非適）	<p>【現状と課題】</p> <p>①基準外繰入金を控除したH21年度決算の実質収支は、2,982千円の黒字（H20は13,992千円黒字）。 収益的収支に係る一般会計からの繰入金は、44,773千円（うち基準外14,700千円。H18からH20まで基準外はなし）。 資本的収支に係る一般会計からの繰入金は、83,970千円（うち基準外5,296千円。H18からH20まで基準外はなし）。 基準外繰入の目的は、収益的収支分は可搬式洗砂機購入費用、資本的収支分は消火栓への接続費用となっている。</p> <p>②料金回収率と普及率は、近年、下がる傾向にある。 料金回収率61.3％は、県平均62.9％より1.6％低い。県内順位は18団体内8位。 普及率58.4％は、県平均72.9％より14.5％低い。県内順位は18団体内16位。</p> <p>③施設の利用効率が県内平均よりはるかに高い一方で、有収率が県内18団体内17位となっている。</p> <p>③20m3当たり使用料月額は3,750円で、県平均3,425.2円より324.8円高い。県内順位は18団体内6位。</p> <p>⑥水道高料金対策実施要領（平成13年4月20日総財企第84号）に基づく水道高料金対策実施計画を策定し、これに取り組んでいるところであり、当該計画の確実な実施が求められるところである。</p> <p>【検討依頼事項】</p> <p>①普及率が低迷している要因と、向上に向けた取り組みについて説明してください。</p> <p>②老朽施設の更新について計画があれば説明してください。</p>	<p>① これまで国庫補助事業により、積極的に水道の未普及地域解消に向けた取り組みを行ってきたところであるが、今後、新たに国庫補助事業で整備できる地域は残っていない状況である。 そのため現在は、補助事業で整備できない人口100人以下の地域について、町単独の補助である飲料水共同施設整備事業により、自家水道からそれよりもより安全で安定した給水が可能な施設整備の促進を図っているところである。</p> <p>② 老朽施設更新は、現在、平成19年度から22年度の計画期間で門簡易水道施設を、平成20年度から24年度の計画期間で安家簡易水道施設を整備中であり、その後、平成24年度から26年度の計画期間で大川簡易水道施設の整備更新を行う計画である。</p>

		検討依頼事項	左に対する検討結果（方針・対策・課題・要望事項等）
公共下水道事業		【現状と課題】 ・基準外繰入金控除後H21年度決算の実質収支は▲11,681千円（H20 ▲38,795千円）。収益的収支は▲21,047千円となっており、資本的収支も▲5,913千円となっている。 尚、一般会計からの繰入金については、収益的収支が32,199千円（うち基準外15,818千円：H20基準外 24,186千円）、資本的収支が55,355千円（うち基準外2,634千円：H20基準外 18,062千円）となっており、合計で繰入金 87,554千円（うち基準外 18,452千円：H20基準外 42,248千円）となっている。 ・水洗化率53.0%は、類型平均60.2%と比較して7.2%低くなっており、県平均85.6%と比較しても32.6%低くなっている。 ・有収率106.7%は、類型平均93.5%と比較して13.2%高くなっており、県平均80.9%と比較しても25.8%高くなっている。 ・使用料回収率42.3%は、類型平均37.1%と比較して5.2%高くなっており、県平均63.0%と比較して20.7%低くなっている。 ・使用料単価153.1円は、類型平均157.7円と比較して4.6円低くなっており、県平均152.9円と比較して0.2円高くなっている。 ・一般家庭用使用料（1か月に20㎡使用）2,620円は、類型平均3,025円と比較して405円低くなっており、県平均2,902円と比較して282円低くなっている。 【検討依頼事項】 ①水洗化率が類型平均及び県平均を大幅に下回っていることから、水洗化率向上のための具体的な取り組みについて示してください。 ②有収水量が100%を超える理由について、教えてください。 ③使用料回収率が県平均を大幅に下回っている要因の一つに、使用料が類型及び県平均よりも低い設定となっていることが考えられるが、使用料改定についての検討状況について教えてください。 ④18,452千円の基準外繰入金があることから、当該基準外繰入金を縮減するよう経営改善に努めてください。	① 町の広報に掲載及びチラシ配布、ダイレクトメール、個別訪問等で啓蒙。 排水設備工事資金融資に係る利子補給制度（平成21年度から限度額拡大120万円限度） 町内イベントでの下水コーナーを設置（模型展示、微生物観察、クイズ、チラシ配布） ② 下水道使用料の算定は、水道使用水量を基に算定。屋外に設置されている給水栓分は、殆どの家庭で排水設備に接続されていないため、水道使用量と処理水量に差が生じている。また、宅地内に多少の漏水も推定されること。 ③ 使用料改定について、予定では平成22年度前後としていたが、接続加入率が低いことから見送りしている状況。 いずれ、使用料改定は避けて通れないが、接続加入の推移を見定め改定したい。 ④ 接続率の向上及び使用料の改定の早期実現に努めると共に、維持管理経費の縮減に努めて行く。
		観光事業（その他観光） 【現状と課題】 ①観光鍾乳洞「龍泉洞」の観光施設事業を経営している。 ②利用人員 H18:198,190人、H19:217,739人、H20:163,981人、H21:200,114人 ③H21年度決算の実質収支は12,340千円（H20は7,605千円）であるが、基準外繰入金が収益的収支44,989千円、資本的収支36,964千円、合計81,953千円（H20は収益的収支23,746千円、資本的収支0円、合計23,746千円）あり、基準外控除後のH21年度決算の実質収支は▲69,613千円（H20▲16,141千円）となっている。 【検討依頼事項】 ①貴町と犂岩泉総合観光との役割分担について教えてください。 ②H20年度より基準外繰入が発生しています。基準外繰入の内容、繰入の基準について教えてください。 ③基準外繰入金を縮減するよう、経営改善に努めてください。	①町の役割→龍泉洞を中心とした観光振興を図る。観光関係団体、事業者や地域の活性化を図る。観光交流人口の拡大を図る。 犂岩泉総合観光の役割→町内観光関係団体等と連携しながら、観光資源を活用し町内経済の活性化を図る。雇用の維持、定住化を図る。 ②平成20年の宮城岩手内陸地震、岩手沿岸北部地震の風評被害による著しい観光客の減少による一般会計からの繰入である。龍泉洞事務所職員3名分を、一般会計からの繰入補てんしたもの。 ③自然災害など外的要因等特殊な場合であり、緊急避難的に一般会計から繰入を行い、町内経済への影響を抑え活性化につなげるものである。本年度から、会計の状況をみながら、一般会計へ返還を予定している。観光事業の基盤整備等を行うなど、町内経済と地域の活性化を図りながら、経営改善を図る。
		宅地造成事業 【現状と課題】 ①大川地区において、宅地4区画を分譲している。（売却済分なし） ②造成完了：平成14年3月 面 積：314.46㎡（95.12坪）～482.44㎡（145.94坪） 価 格：2,659千円～4,079千円 ③H21年度決算の実質収支は0円（H20も0円）であるが、基準外繰入金が収益的収支59千円、資本的収支1,157千円、合計1,216千円（H20は収益的収支91千円、資本的収支1,133千円、合計1,224千円）あり、基準外控除後のH21年度決算の実質収支は▲1,216千円（H20▲1,224千円）となっている。 ④収益的収支の費用65千円は、地方債利息(56千円)及び水質検査手数料等(9千円)であり、資本的収支の支出1,157千円は、地方債償還金である。 費用の財源については、電柱敷地料収入である6千円（収益的収支）以外は、すべて基準外繰入で賄っている状態である。 ⑤地方債の償還は、平成23年度で終了すること。 【検討依頼事項】 当該分譲地について、売却の方針等を教えてください。	大川地区宅地造成地は、町有地の遊休土地を活用し、造成。定住化対策のために町の中心地以外にも需要があるとのアンケート結果などから造成したもの、売却できない状況である。造成当時、照会が2、3件あったが、不況により会社が倒産したなど、先行きの見えない状況で断念したケースもあった。 その後、大川地域を戸別訪問し販売促進を進めるが感触が悪く、IJUターン者向けにということで、HPや首都圏PRも進めたが売却できない状況が続いている。 分譲価格の見直し、プレミアム付き分譲（マツタケ採取権付き）など検討をしていたが、移転代替用地あるいは道路用地としての可能性がでてきたことから、現在、分譲活動を見合わせているところである。
第三セクター等	総括的事項	【現状と課題】 ・H22.3.31現在で、25%以上出資の第三セクターは5法人となっている。 ・運営費補助金を交付している法人は、1法人（岩泉農業振興公社）となっている。 ・経常損失を計上している法人は、2法人（岩泉総合観光、岩泉乳業）となっている。 また、岩泉農業振興公社についても、運営費補助金を除いた場合は、経常損失となること。 ・債務超過の状態にある法人は、2法人（岩泉総合観光、岩泉乳業）となっている。 【検討依頼事項】 ・出資者として、どのように第3セクターを監視しているか住民への説明責任についてどのように取り組んでいるか教えてください。	・第三セクター5社の経営状況はいずれも良好であるとは言えない状況にある。点検・評価する委員会については、未設置であるが、指導助言については、担当課長等で構成する経営検討会議を定期的に行い、営業体制、管理運営の効率化等総合的な見直しを図り、収支改善に努めている。住民への説明責任に関しては、議会重視はもちろんのこと、広報誌等及び議会が発行する議会報で、町側と議会側の両面から住民へ周知し理解を求めている。

		検討依頼事項	左に対する検討結果（方針・対策・課題・要望事項等）
住民への 行財政情報 の開示	㈱岩泉産業開発 (86.9%)	【現状と課題】 ・同法人は、「龍泉洞の水」等の地域特産品の製造販売、道の駅いわいずみレストラン・売店の経営、道の駅三田貝分校レストラン・売店の経営、ふれあいランド岩泉等の町有施設の受託運営を行っている株式会社である。 ・H21年度決算の経常損益は＋916千円と黒字を確保しているが、近年、縮小傾向での推移となっている。 H18:43,271、H19:25,656、H20:4,307、H21:916 【検討依頼事項】 ・経常損益が縮小傾向で推移しています。その原因の分析状況、対策の検討状況等について教えてください。	経常損益の縮小の原因、分析状況→ブランド力、営業基盤の強化や新規事業の拡大、コスト削減等収益の改善策を積極的に展開したが、主力商品である龍泉洞の水等の飲料が、消費全体の低価格志向によって大手メーカー参入による低価格競争のあおりをまともに受けるなど、平成21年10月後半からの経済不況、雇用不況により、個人消費が冷え込み売上が低迷し経営が悪化したが、徹底した在庫圧縮や債券回収に努め、借入金を全額繰上げ償還するなど経営改善を図った。 検討状況→ 売上確保・コスト管理の徹底による収益力の強化を図るとともに、新商品の開発、新規取引先開拓を行いながら経営改善を図る。
	㈱岩泉総合観光 (72.5%)	【現状と課題】 ・同法人は、龍泉洞温泉ホテルの管理運営、龍泉洞レストハウス管理運営、龍泉洞の清掃業務・洞内安全管理、改札業務等を受託している株式会社である。 ・H21年度決算の経常損益は▲12,056千円で、H20年度(▲7,858千円)に比べ4,198千円損失の幅が大きくなっており、43,653千円の債務超過(H20:31,394千円の超過債務)となっている。 ・町の委託料は26,055千円で、H20年度(29,464千円)に比べ3,409千円の減となっている。 【検討依頼事項】 ①龍泉洞温泉ホテル、龍泉洞レストハウスの経営主体を教えてください。 ②経常損失、債務超過の原因を検証するとともに、その解消に向けた経営改善について検討してください。	①㈱岩泉総合観光 ②平成20年の岩手宮城内陸地震、岩手沿岸北部地震の風評被害による著しい観光客の減少、平成21年10月後半からの経済不況、雇用不況により個人消費の低迷、雇用環境の悪化など景気に対する不透明感が一段と強まり、龍泉洞を中心とした観光客の減少、観光交流人口の鈍化による経営悪化から、営業力増強と経費節減を図ったが、人件費等の圧縮ができなかった。 経営改善については、徹底した経費の節減を図るとともに、営業力を強化し、岩泉の自然を活用した、体験型観光などの旅行商品の企画・開発を行いながら観光関係団体等との連携を図りながら、経営改善を進める。
	㈱岩泉きのこ産業 (93.1%)	【現状と課題】 ・同法人は、きのこ等農産物の生産、加工及び販売を行っている株式会社である。 ・H21年度決算の経常損益は＋86,483千円で、H20年度(+40,424千円)に比べ46,059千円増となっており、債務超過を解消したところ。 ・町の損失補償している債務残高が439,665千円(H20年度:503,780千円)あり、H20年度に比べ64,115千円の減となっている。 ・町からの長期借入金が36,000千円(H20:42,000千円)あり、H20年度に比べ6,000千円の減となっている。 【検討依頼事項】 ①町が損失補償している債務残高の将来の見込みについて教えてください。 ②町からの長期借入金の償還見込みについて教えてください。	①町が損失補償している債務残高は、これまでも償還計画に沿って金融機関に返済しており、平成32年度には完済する予定である。 ②町からの長期借入金についても、元金均等償還により償還計画に沿って返済されており、平成27年度には完済する予定である。
	(社)岩泉農業振興公社 (83.3%)	【現状と課題】 ・同法人は、堆肥の製造販売、土壌分析、水堀牧場の運営、大牛内育成牧場の運営、早坂採草牧場等での粗飼料生産を行っている法人である。 ・H21年度決算の経常損益は＋2,318千円で、H20年度(+4,185千円)に比べ1,867千円の減となっている。 しかし、運営費補助金がH21は26,287千円(H20は26,750千円)あり、運営費補助金を控除した場合の経常損益は▲23,969千円(H20は▲22,565千円)となる。 【検討依頼事項】 ①運営費補助金の考え方について、説明してください。 ②運営費補助金を控除した場合、経常損失となることから、経営状況について検証を行い、経営改善について検討してください。	①農家の経営安定及び農業振興公社の円滑な事業運営のための補助である。 ②運営費補助金の大半が農家負担軽減のための「堆肥化処理料軽減事業」となっていること、また、その他の補助についても、町の農業振興策を展開していくうえで、必要な事業に対し補助している現状である。経営改善については、常に考えていかなければならないが、町補助金の減＝農家負担の増につながることから、慎重に検討していく必要がある。
	岩泉乳業㈱ (91.1%)	【現状と課題】 ・同法人は、牛乳・乳製品の製造販売、コールドセンター業務の受託運営を行なう株式会社である。 ・H21年度決算の経常損益は▲53,272千円で、H20年度(▲75,083千円)に比べ21,811千円圧縮されたが、経常損失が常態化しており、149,400千円の債務超過(H20:95,465千円の債務超過)となっている。 ・町からの長期借入金が、265,000千円ある。 ・9月定例会において、出資金2億円の増資を提案、可決された。増資分はヨーグルト工場増設経費分である。 【検討依頼事項】 ①町からの長期借入金の返済状況について教えてください。 ②経常損失、債務超過の原因を検証するとともに、その解消に向けた経営改善について検討してください。	①現在、三つの長期貸付金のうち、操業当初に貸付した50,000千円について償還が始まっており、計画どおりの償還状況となっている。他の二つ(80,000千円・150,000千円)については5年間の据置期間中でH26からの償還開始となる。 ②全国的な牛乳消費量の減少や景気の低迷等から当初計画していた10tの製造には遠く及ばず、そのような状況の中において販路拡大を目指した結果、販売先と不利な条件で契約せざるをえなく、蔵出し赤字の状態で取引を行い大きな損失が発生してしまった。その解消に向けた経営改善としては、取引条件の改善や経費節減に取り組んできたが、特に販売戦略の転換(牛乳主体から発酵乳主体へ)に重点を置いて取り組んだ。その成果として、収支は改善傾向にある。
		【現状と課題】 ・平成21年度市町村の行財政情報の公表状況調査による行財政情報の公表率は88.9%(県内20位(県平均88.6%))。 (公表率の内訳) 法律により公表が義務付けられている行財政情報 100.0% 通知により公表が要請されている行財政情報 75.0% ・未公表項目は「福利厚生事業の実施状況」と「第3セクターの決算」の2項目。 ・公表情報1件当たりの活用媒体数は1.5件と県平均を下回る(県平均1.9件)。 【検討依頼事項】 ①未公表項目の公表を検討してください。 ②公表に当たっては、これまで以上に活用媒体の拡充(複数媒体の組み合わせ)に取り組んでください。	①「福利厚生事業の実施状況」については、公表に対する見解の違いにより、未公表となっていたが、今回HP上で掲載済み。「第3セクターの決算」は速やかに公表に向け準備をしているところである。 ②公表媒体については、HP、広報紙等の複数媒体の組み合わせに努めます。